

2024年3月期 決算説明会

2024年5月9日

富士フイルム ホールディングス株式会社

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

FUJIFILM
Value from Innovation

2024年3月期

1 | 決算ハイライト及びトピックス

富士フイルムホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO **後藤 禎一**

2 | 連結業績及び事業概況

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口 昌之**

2025年3月期

3 | 連結業績予想

富士フイルムホールディングス株式会社 取締役・CFO **樋口 昌之**



2024年3月期 決算ハイライト及びトピックス

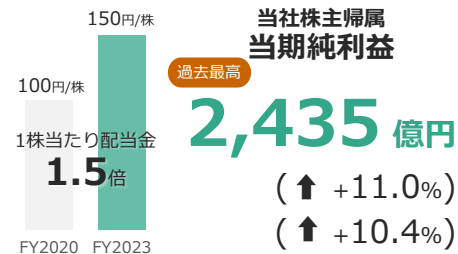
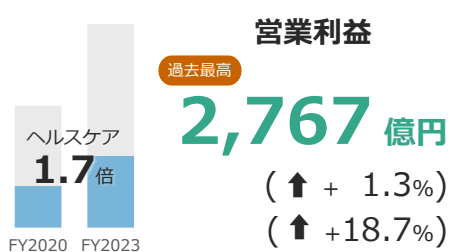


01

2024年3月期 決算ハイライト

2024年3月期 通期 連結業績

(為替レート： 米ドル=145円， ユーロ=157円)



- 売上高、営業利益、当社株主帰属当期純利益ともに過去最高を更新
- 売上高及び営業利益は、メディカルシステム、イメージングの販売好調や、為替影響等により増収、増益
- 当社株主帰属当期純利益は、営業利益の増加に加え、投資有価証券評価益等により、増益

2024年3月期 第4四半期 連結業績

(為替レート： 米ドル=149円， ユーロ=161円)



- 売上高・営業利益・当社株主帰属四半期純利益いずれも、過去最高を更新

2025年3月期 業績予想ハイライト

2025年3月期 通期 連結業績予想

為替レート：米ドル=140円(前年比5円高)，ユーロ=150円(前年比7円高)

売上高

過去最高

3兆 1,000 億円

対前年 (↑ + 4.7%)

営業利益

過去最高

3,000 億円

(↑ + 8.4%)

当社株主帰属
当期純利益

2,400 億円

(↓ - 1.4%)

ポイント

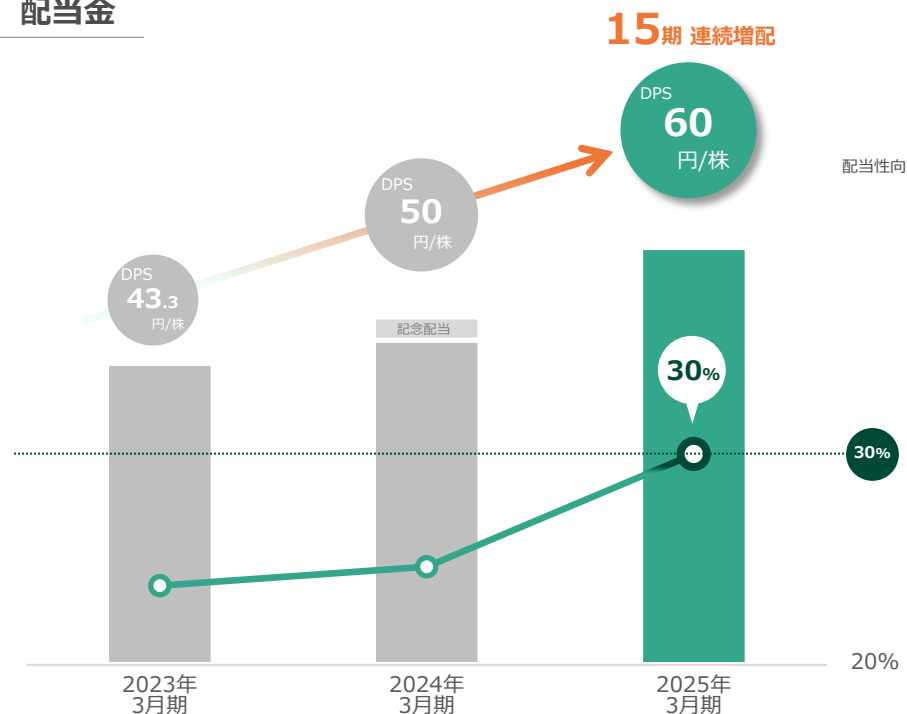
- › 4月17日の中期経営計画「VISION2030」発表時の公表内容から**変更なし**
- › 売上高、営業利益ともに**過去最高更新**を目指す
- › 当社株主当期純利益は、前年に営業外収益で計上した投資有価証券評価益及び為替差損益(前年実績：274億円)を予想に織り込んでいないため、**前年とほぼ同水準**を見込む
- › バイオCDMOや半導体材料を中心とした**総投資額***は、前年を上回る**7,570億円**を計画
- › 事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、**サステナブル社会の実現に貢献する企業**を目指す

*総投資額=設備投資(有形、ソフト・レンタル資産他)+研究開発費

株主還元

- 2024年3月期の年間配当は、創立90周年の記念配当を含む50円/株（株式分割前換算：150円/株）
- 2025年3月期の年間配当は、15期連続増配となる60円/株を予想（株式分割前換算：180円/株）

配当金



* DPS(1株あたり配当金)について

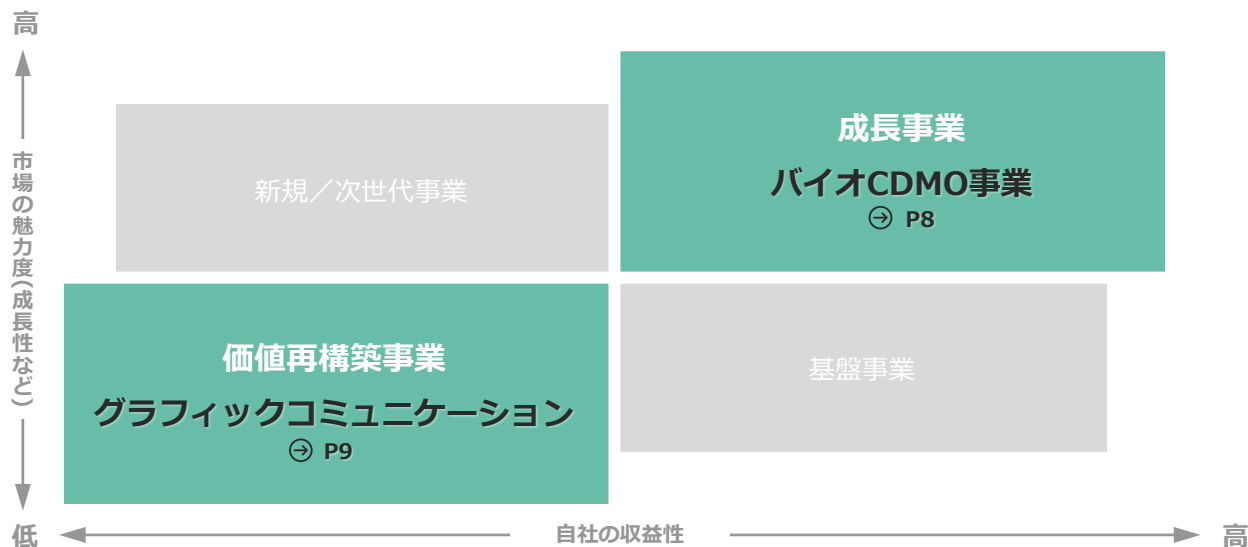
当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期及び2023年3月期のDPSは、株式分割後に換算した値を表示しております。

トピックス①：VISION2030フォローアップ 1/3

事業ポートフォリオマネジメント

VISION2030の戦略実行により、事業ポートフォリオをさらに強化する

事業ポートフォリオマネジメント

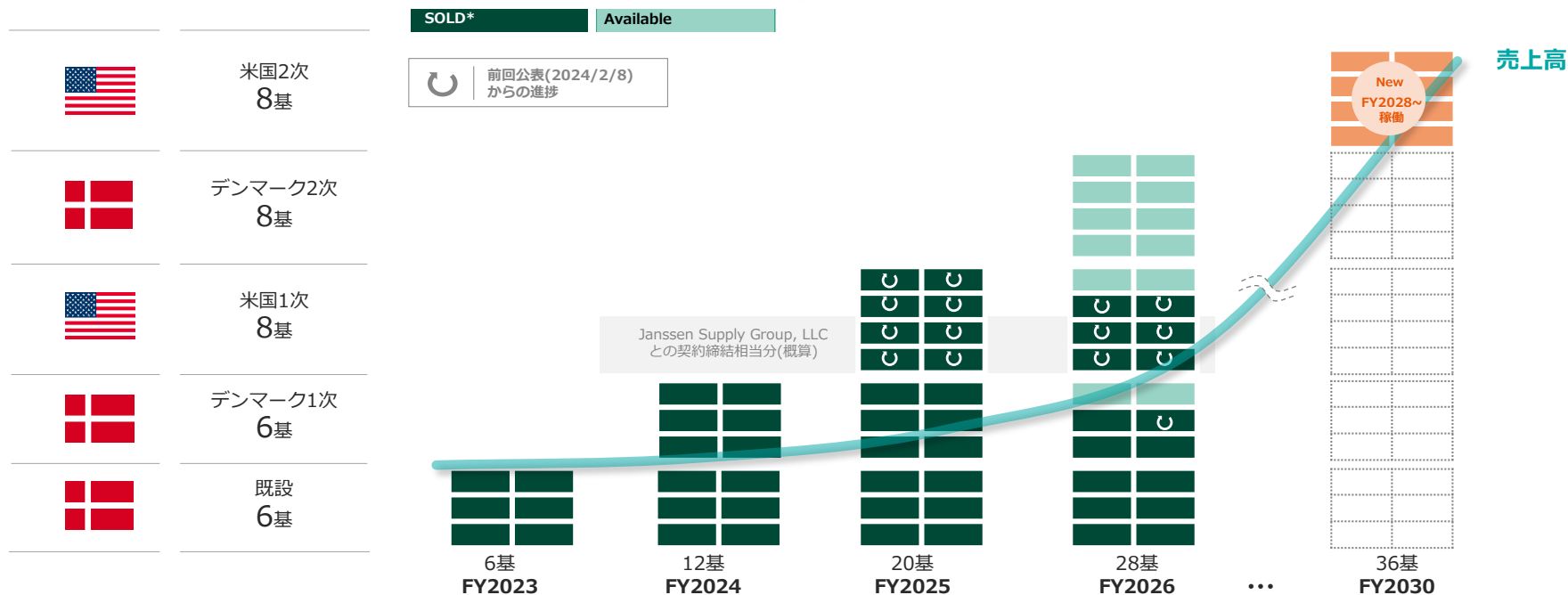


トピックス①：VISION2030フォローアップ 2/3

バイオCDMO

米国ノースカロライナ拠点に新たに総額約1,800億円(12億ドル)の大規模投資を決定
 バイオ医薬品の開発・製造受託事業の成長を一段と加速させ、2030年度：7,000億円の売上高を目指す

大型製造設備(2万ℓ)の商談進捗状況



*SOLD 契約済みに加え、商談内定のうち製造数量まで口頭内示等で見えているもの

トピックス①：VISION2030フォローアップ 3/3

グラフィックコミュニケーション

オフィスから商業印刷・産業印刷まで全領域をカバーできる唯一の「ソリューションパートナー」として事業展開する戦略に基づき、グラフィックコミュニケーションを「ビジネスイノベーション」へ組み替え

グラフィックコミュニケーションの市場環境及び当社の機会

- ① 大ロットのアナログ印刷の総需要減少に先手を打ち、グローバルでの生産ライン統廃合を実施済み
- ② 刷版市場におけるグローバルトップシェアの圧倒的な顧客基盤をアセットとして保有
- ③ 多品種・小ロット印刷やカラー印刷の増加による高速デジタル印刷やDX化のニーズ拡大

オフィスから商業印刷まで全領域をカバーできる唯一の「ソリューションパートナー」として、お客様のデジタルシフトを支援

- 狙い① ゼログラフィー・インクジェットの両技術及びそれらのシナジーに基づくデバイス・DXソリューションの展開による、お客様課題に対する高い解決力の発揮
- 狙い② グラフィックコミュニケーションと旧ビジネスイノベーションの顧客基盤・チャネルの相互活用による、販売シナジーの最大化

「価値再構築事業」から「基盤事業」へのシフト

2023年度まで

ヘルスケア

マテリアルズ

ビジネスイノベーション

イメージング

グラフィックコミュニケーション

組み替え

2024年度より

ヘルスケア

(名称変更)

エレクトロニクス

グラフィックコミュニケーション

ビジネスイノベーション

イメージング

トピックス②：サステナビリティへの取り組み 1/2

環境（ネイチャーポジティブ）

「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」こと

当社は、「**生物多様性のための30by30アライアンス***」に加盟しております。

* 2030年前に陸と海の30%以上の保全を目指す国際約束「30by30目標」の達成のため、2022年4月に環境省などが発起人となり、企業、自治体、NPOなどが集まって発足したもの。

公益信託「富士フィルム・グリーンファンド」に対し、総額10億円の追加拠出を決定

当社創立50周年を迎えるにあたり、1983年に資金を拠出して設立した公益信託で、**自然保護をテーマとした民間企業による公益信託としては日本で初めてのもの**

4つの事業内容：自然環境の保全、育成に関する活動や研究に対して40年間で220件の助成や支援を行ってきた

① 未来のための森づくり ② 緑のための支援事業 ③ 緑とふれあいの活動助成 ④ 緑の保全と活用の研究助成

ネイチャーポジティブの実現へ

COPの変遷と関連する動き

		1934	富士写真フィルム株式会社設立
		1983	公益信託富士フィルム・グリーンファンド(FGF)設立
「国連気候変動枠組条約」採択	1992		
COP3 京都議定書」採択(2005年発効)	1997		
		1998	中国の砂漠地帯での植林ボランティア開始
		2006	当社の「CSRの考え方」を定める
COP21 「パリ協定」採択(2016年発効)	2015		
		2017	CSR計画「Sustainable Value Plan 2030」策定
		2020	脱炭素目標の策定(2021年に目標の引き上げ)
COP15 「昆明・モントリオール生物多様性枠組」採択	2022		
		2024	FGFへの総額10億円の寄付

→「ネイチャーポジティブ」の方向性を明示

当社の活動

1934	富士写真フィルム株式会社設立
1983	公益信託富士フィルム・グリーンファンド(FGF)設立
1998	中国の砂漠地帯での植林ボランティア開始
2006	当社の「CSRの考え方」を定める
2017	CSR計画「Sustainable Value Plan 2030」策定
2020	脱炭素目標の策定(2021年に目標の引き上げ)
2024	FGFへの総額10億円の寄付

40周年

トピックス②：サステナビリティへの取り組み 2/2

外部からの新たな評価

* SVP2030(Sustainable Value Plan 2030)

持続的に発展していくための経営の根幹をなす計画として位置付けている、2030年度をゴールとするCSR計画

SVP2030*の下、革新的技術・製品・サービスの提供などで、事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、サステナブル社会の実現にさらに貢献する企業を目指す

2024/04

サステナビリティ

- 事業ポートフォリオマネジメントを通じて、ヘルスケアなどの領域にシフトするトランスフォーメーションを実現
- 長期戦略・ビジネスモデル・目指す姿の整合性
- 積極的なDX戦略や知財戦略

初回
選出

SX 銘柄 2024
Sustainability Transformation

2024/03

健康

2019年に「富士フイルムグループ健康経営宣言」を制定
生活習慣病、がん、喫煙、メンタルヘルス、長時間労働の5つを重点領域として設定



健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

2024/03

DX
(デジタルトランスフォーメーション)

当社が提供する「罹災証明迅速化ソリューション」を通じて、災害発生時の自治体による罹災証明書交付の迅速化に貢献

Digi田 (デジでん)
甲子園 2023

民間企業・団体部門
優勝(内閣総理大臣賞)

➔ P44


2024/02

環境
(気候変動)

- CSR計画「SVP2030」のもと、気候変動への対応等の取り組み
- グループ環境戦略「Green Value Climate Strategy」の策定
 - インターナルカーボンプライシングの導入



2年連続「気候変動」分野で
「Aリスト企業」に認定



2024年3月期 連結業績及び事業概況



02

2024年3月期 業績 (2023年4月～2024年3月)

(単位：億円)

	通期				
	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	28,590 100.0%	過去最高 29,609 100.0%	1,019 +3.6%	1,068	-49 -0.2%
営業利益	2,731 9.6%	過去最高 2,767 9.3%	36 +1.3%	251	-215 -7.8%
税金等調整前当期純利益	2,822 9.9%	過去最高 3,173 10.7%	351 +12.4%	314	37 +1.3%
当社株主帰属当期純利益	2,194 7.7%	過去最高 2,435 8.2%	241 +11.0%	218	23 +1.1%
EPS	182.40円	202.29円	19.89円	<その他増減要因(対前年度)> 営業利益における 原材料価格影響： 8億円 (半導体等の部材価格は含まず)	
ROE	8.3%	8.2%	-0.1 pt		
ROIC	6.1%	5.6%	-0.5 pt		
CCC	125 日	116 日	-9 日		
為替	: 米ドル	136円	145円		
	: ユーロ	141円	157円	16円安	

2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)

セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	通期		対前年度		為替影響除く	
	2023年 3月期	2024年 3月期				
ヘルスケア	9,288	9,751	463	+5.0%	48	+0.5%
* マテリアルズ	6,818	6,900	82	+1.2%	-188	-2.7%
ビジネスイノベーション	8,381	8,261	-120	-1.4%	-271	-3.3%
イメージング	4,103	4,697	594	+14.5%	362	+8.8%
合計	28,590	29,609	1,019	+3.6%	-49	-0.2%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	通期		対前年度		為替影響除く	
	2023年 3月期	2024年 3月期				
ヘルスケア	1,028	974	-54	-5.2%	-127	-12.3%
* マテリアルズ	654	429	-225	-34.5%	-289	-44.3%
ビジネスイノベーション	695	708	13	+1.8%	0	-0.1%
イメージング	729	1,019	290	+39.9%	188	+25.9%
全社/連結調整	-375	-363	12	-	13	-
合計	2,731	2,767	36	+1.3%	-215	-7.8%

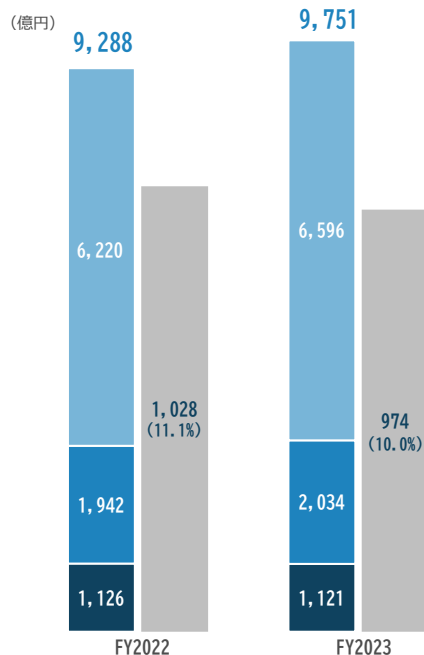
* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)

セグメント別概況：ヘルスケア

対前年比
売上高 ↑+5.0%
営業利益 ↓-5.2%

売上高は、メディカルシステム、バイオCDMOにおいて増収。営業利益は、医薬品で前年度に計上した一時収益の反動や、バイオCDMOやライフサイエンスの棚卸資産評価減他の一時費用発生増等により減益



■ | メディカルシステム
■ | バイオCDMO
■ | LSソリューション
■ | 営業利益(率)

メディカルシステム

売上高 6,596 億円 (対前年 +6.0%)

- 内視鏡、CT/MRI等の販売が好調に推移し、増収。内視鏡では、日本・米国・欧州・中国等で販売が伸長。CT/MRIでは、中南米や中東、インドでの販売が伸長したこと等により、好調に推移

バイオCDMO

売上高 2,034 億円 (対前年 +4.8%)

- 抗体医薬品の製造受託がデンマーク拠点を中心に堅調に推移したことに加え、生産性向上等が寄与し、増収
- バイオベンチャーの資金調達難を背景とした遺伝子治療薬等の市況停滞の長期化を受け、使用を見込んでいた部材の有効期限切迫により、棚卸資産評価減を第1・3四半期に計上
- 市況停滞の影響を受けた中小型製造設備では、2024年度第1四半期に構造改革を実施し、生産体制を最適化

LSソリューション

売上高 1,121 億円 (対前年 -0.5%)

- ライフサイエンスは、抗体医薬品製造向け培地の販売が回復したことに加え、iPS細胞を用いた眼疾患治療プログラムでの、BlueRock社からのライセンス料収入により、増収
- 医薬品は、前年に放射性医薬品事業の譲渡に伴う一時収益があり、減収

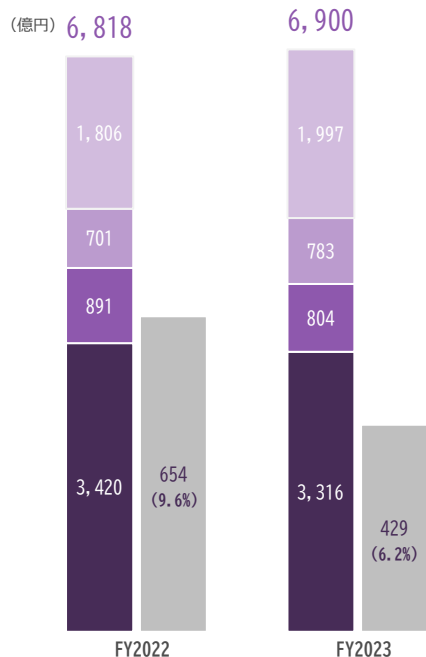
* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)

セグメント別概況：マテリアルズ

売上高は、半導体市場の停滞等による減収影響を、買収した半導体用プロセスケミカルの販売寄与等でカバーし増収。営業利益は、M&A関連他の一時費用増等により減益

対前年比
売上高 ↑+1.2%
営業利益 ↓-34.5%



電子材料

売上高 1,997 億円 (対前年 +10.6%)

- 半導体市場の市況軟化の影響を受けたものの、2023年10月に米国Entegris社から買収を完了した半導体用プロセスケミカルの販売が寄与し、売上は増加

ディスプレイ材料

売上高 783 億円 (対前年 +11.6%)

- サプライチェーン全体での生産調整があった前年に対して、増収

他高機能材料

売上高 804 億円 (対前年 -9.7%)

- 顧客データセンターの建設タイミングによる需要変動影響を受けたデータテープの販売減、及び前年のコロナ特需反動により業務用PC向け需要が減少したタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売減等により、減収

グラフィックコミュニケーション

売上高 3,316 億円 (対前年 -3.0%)

- アナログ印刷は印刷物需要減影響により減収となるも、固定費削減等が寄与し増益、デジタル印刷/DXソリューションは増収となるも、開発費増加や新販売地域における体制整備等の先行投資により、減益
- インクジェットにおいて、セラミック市場向けインクジェットヘッドの販売が、中国の不動産市場における需要低迷の影響を受けたこと等により、減収
- インク生産拠点再編による体質強化を目的とした構造改革を実施

* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

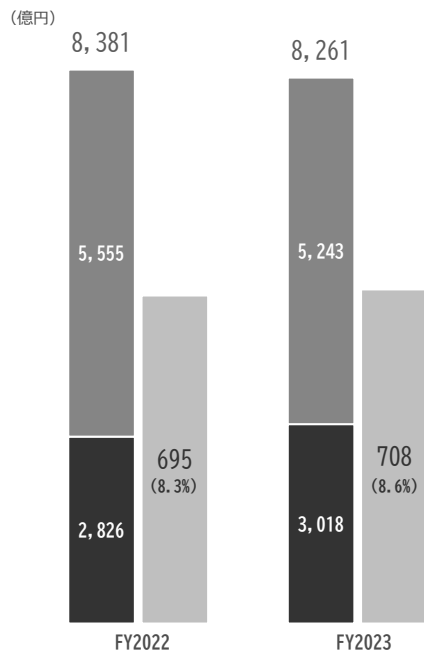
■ 電子材料
■ ディ스플레이材料
■ 他高機能材料
■ グラフィックコミュニケーション
■ 営業利益(率)

2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)

セグメント別概況：ビジネスイノベーション

ビジネスソリューションは好調に推移するも、オフィスソリューションで欧米向け輸出の減少等が影響し、全体では減収。営業利益は、価格改定等収益構造の改善により増益

対前年比
売上高 ↓ -1.4%
営業利益 ↑ +1.8%



オフィスソリューション

売上高 5,243 億円 (対前年 -5.6%)

- OEM供給の拡大やワールドワイドでの販売価格改定等を実施するも、欧米向け輸出が減少したこと等により、対前年で減収
- 欧州各国の有力代理店を活用して、欧州地域での当社複合機「Apeos」シリーズの販売を本格的に開始。低温定着性を有するSuper EA-Ecoトナーの採用によるトナー定着時の消費電力低減等、欧州で重視される環境負荷低減に貢献

ビジネスソリューション

売上高 3,018 億円 (対前年 +6.8%)

- DX関連ソリューションの販売が増加したことやFUJIFILM MicroChannel社の新規連結効果等により、対前年増収
- 当社が提供する「罹災証明迅速化ソリューション」について、「被災者の生活再建支援の迅速化につながっているなど、実際に高い効果が出ている点が評価できる」と評され、内閣官房主催の「Digi 田 (デジでん)甲子園2023」民間企業・団体部門で優勝し、「内閣総理大臣賞」を受賞 → P44参照

■ | オフィスソリューション
■ | ビジネスソリューション
■ | 営業利益(率)

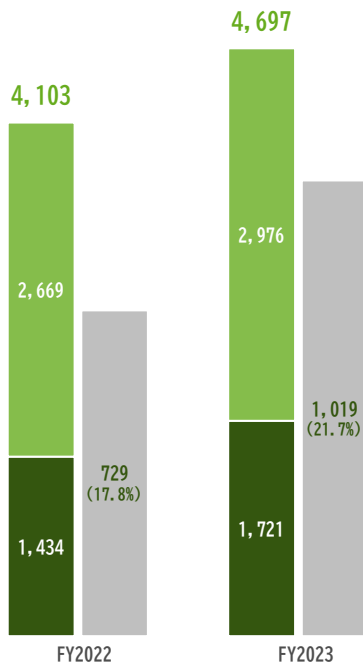
2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)

セグメント別概況：イメージング

対前年比
売上高 営業利益
↑+14.5% ↑+39.9%

INSTAXやデジタルカメラの販売が好調に推移し、大幅な増収増益

(億円)



コンシューマーイメージング

売上高 2,976 億円 (対前年 +11.5%)

- INSTAXの2025年3月期の売上高目標1,500億円を、1年前倒しで達成するなど、コンシューマーイメージングの増収を牽引
- デジタル技術を搭載したハイブリッドインスタントカメラ「INSTAX mini Evo」や、2023年10月に発売した“手のひらサイズカメラ”「INSTAX Pal」を中心に付加価値の高い製品が好調に推移
- 2024年4月に、アナログインスタントカメラの最上位モデル「INSTAX mini 99」を販売

プロフェッショナルイメージング

売上高 1,721 億円 (対前年 +20.0%)

- デジタルカメラは、前年度に発売したモデルに加え、2023年6月に発売した「X-S20」、同年9月に発売した「GFX100 II」の販売も好調に推移し、増収
- 2024年3月に、高級コンパクトデジタルカメラ「X100シリーズ」の最新モデルとして、約4020万画素センサーと最新プロセッサを搭載した「X100VI」を販売

- コンシューマーイメージング
- プロフェッショナルイメージング
- 営業利益(率)

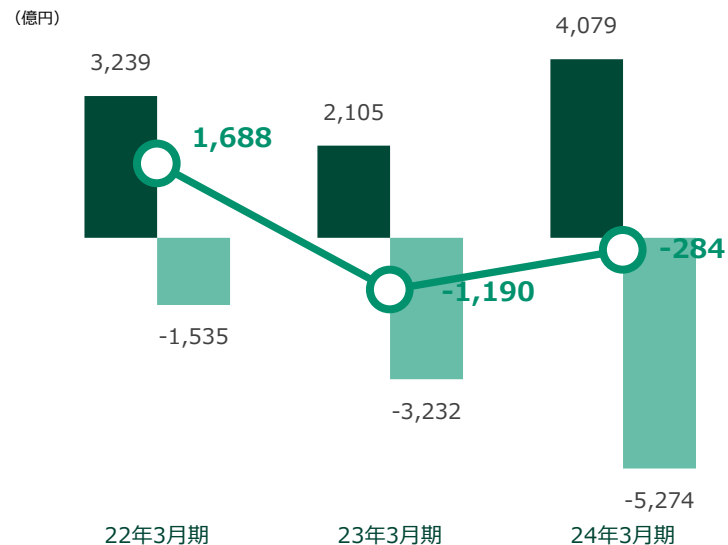
2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)

連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	22年 3月期末	23年 3月期末	24年 3月期末	対23年 3月期末		22年 3月期末	23年 3月期末	24年 3月期末	対23年 3月期末
現金及び現金同等物	4,863	2,686	1,797	-889	長短社債及び借入金	4,472	3,762	5,028	1,266
受取債権	5,986	6,331	6,966	635	支払債務	3,032	3,204	3,465	261
棚卸資産	5,045	5,673	5,478	-195	その他流動・固定負債	6,800	6,498	7,609	1,111
その他流動資産	1,353	1,621	1,506	-115	負債計	14,304	13,464	16,102	2,638
流動資産計	17,247	16,311	15,747	-564	株主資本計	25,027	27,631	31,692	4,061
有形固定資産	7,368	9,761	13,957	4,196	非支配持分	222	248	41	-207
営業権	8,240	8,583	9,538	955	純資産計	25,249	27,879	31,733	3,854
その他固定資産	6,698	6,688	8,593	1,905	負債・純資産合計	39,553	41,343	47,835	6,492
固定資産計	22,306	25,032	32,088	7,056					
資産合計	39,553	41,343	47,835	6,492					
					(単位：円)				
					期末日 為替レート	22年 3月期末	23年 3月期末	24年 3月期末	対23年 3月期末
					米ドル	122	134	151	17円安
					ユーロ	137	146	163	17円安

2024年3月期 (2023年4月～2024年3月) 連結キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- 事業買収等を除くフリー・キャッシュ・フロー



(単位：億円)

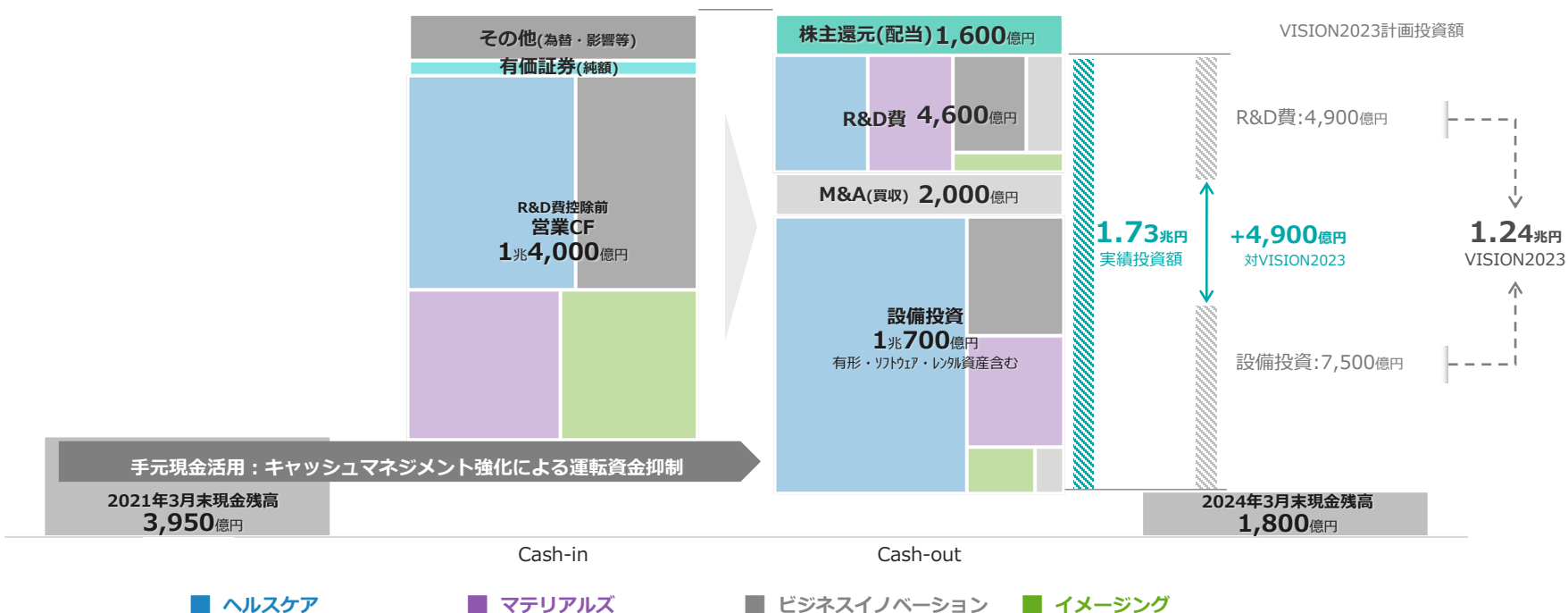
	22年3月期	23年3月期	24年3月期
当期純利益	2,164	2,217	2,433
減価償却費	1,330	1,422	1,500
受取債権の増(-)減(+)	347	-171	-212
棚卸資産の増(-)減(+)	-683	-515	620
営業債務の増(+)-減(-)	210	-92	34
その他	-129	-756	-296
営業活動によるCF	3,239	2,105	4,079
設備投資	-1,261	-2,698	-4,180
ソフトウェアの購入	-399	-536	-467
投資有価証券の売却・購入等	123	350	127
事業買収	-107	-287	-1,038
その他	109	-61	284
投資活動によるCF	-1,535	-3,232	-5,274
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	1,704	-1,127	-1,195
事業買収等を除くFCF※	1,688	-1,190	-284

※フリー・キャッシュ・フローから、事業買収、及び投資有価証券等の売却・購入を控除しています。

キャッシュ・アロケーション (VISION2023 3年間合計)

営業キャッシュ・フローに加えて、有価証券の売却や、キャッシュマネジメント強化等で確保した資金を充当し、当初の計画を上回る成長投資を実行

キャッシュアロケーション(2021年度～2023年度 3年実績)





2025年3月期 連結業績予想



03

2025年3月期 通期連結業績予想

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期 今回予想	対前年度	
売上高	29,609 100%	過去最高 31,000 100%	1,391 +4.7%	
営業利益	2,767 9.3%	過去最高 3,000 9.7%	233 +8.4%	
税金等調整前当期純利益	3,173 10.7%	3,100 10.0%	-73 -2.3%	
当社株主帰属当期純利益	2,435 8.2%	2,400 7.7%	-35 -1.4%	
* EPS	202.29円	199.32円	-2.97円	
ROE	8.2%	7.8%	-0.4pt	
ROIC	5.6%	5.4%	-0.2pt	
CCC	116日	115日	-1日	
為替	：米ドル	145円	140円	5円高
	：ユーロ	157円	150円	7円高
銀価格 (/kg)	109,000円	112,000円	+3,000円	

* EPS(1株当たり当社株主帰属当期純利益)の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年3月31日現在の発行株式数(自己株式数を除く)を使用しています。

セグメント別業績予想

2025年3月期の営業利益は3,000億円を予想。バイオCDMOの中小型設備の生産体制を対象とした構造改革等の影響により、上期は全社で対前期減益となるも、下期より収益改善させ、通期で増益を見込む

(単位：億円)

売上高	2024年3月期	2025年3月期 今回予想	対前年		為替影響除く	
ヘルスケア	9,751	10,100	349	3.6%	519	5.3%
エレクトロニクス	3,584	4,100	516	14.4%	576	16.1%
* ビジネスイノベーション	11,577	12,000	423	3.6%	443	3.8%
イメージング	4,697	4,800	103	2.2%	163	3.5%
合計	29,609	31,000	1,391	4.7%	1,701	5.7%

(単位：億円)

営業利益	2024年3月期	2025年3月期 今回予想	対前年		為替影響除く	
ヘルスケア	974	1,120	146	15.0%	181	18.6%
エレクトロニクス	465	570	105	22.7%	140	30.2%
* ビジネスイノベーション	672	730	58	8.6%	48	7.1%
イメージング	1,019	1,000	-19	-1.9%	16	1.5%
全社/連結調整	-363	-420	-57	-	-57	-
合計	2,767	3,000	233	8.4%	328	11.8%

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

ROIC(投下資本利益率)

2024年3月期は、バイオCDMO・半導体材料での中長期を見据えた成長投資により、前年比0.5pt低下となる5.6%で着地

旧セグメントベース (グラフィックコミュニケーションがマテリアルズに含まれる)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	対前年差異
ヘルスケア	5.0%	3.7%	-1.3pt
マテリアルズ	8.3%	4.0%	-4.3pt
ビジネスイノベーション	7.8%	7.2%	-0.6pt
イメージング	30.3%	41.8%	+11.5pt
*セグメント別ROIC=NOPAT/(運転資本+固定資産)で算出			
全社	6.1%	5.6%	-0.5pt

*全社ROIC=NOPAT/(有利子負債+株主資本)で算出

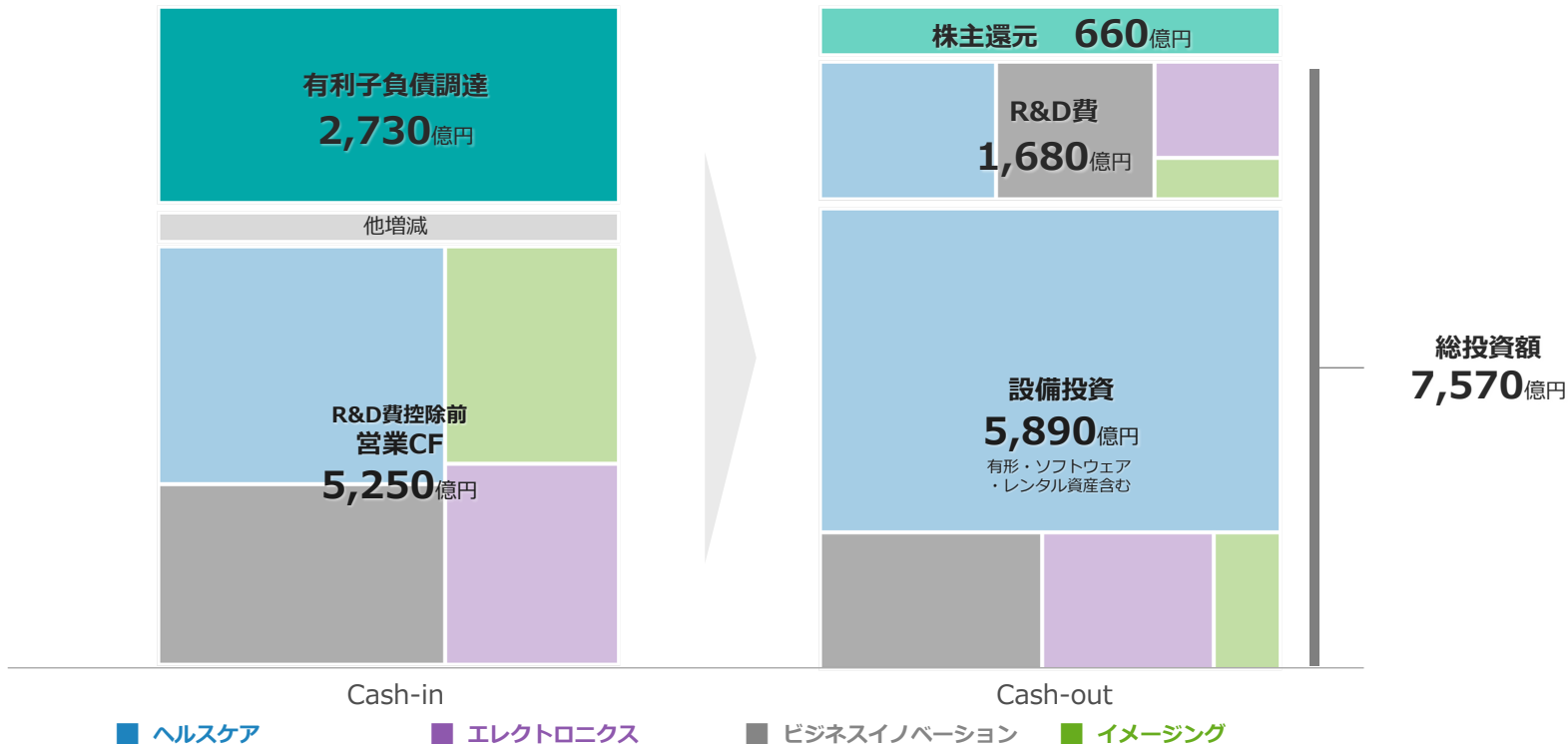
新セグメントベース (グラフィックコミュニケーションをビジネスイノベーションへ組み替え)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	...	2027年3月期 VISION2030
ヘルスケア	3.7%	3.7%		4.1%
エレクトロニクス	7.0%	8.2%		9.3%
ビジネスイノベーション	4.9%	5.0%		6.7%
イメージング	41.8%	39.3%		37.2%
*セグメント別ROIC=NOPAT/(運転資本+固定資産)で算出				
全社	5.6%	5.4%		5.8%

*全社ROIC=NOPAT/(有利子負債+株主資本)で算出

キャッシュ・アロケーション(2025年3月期)

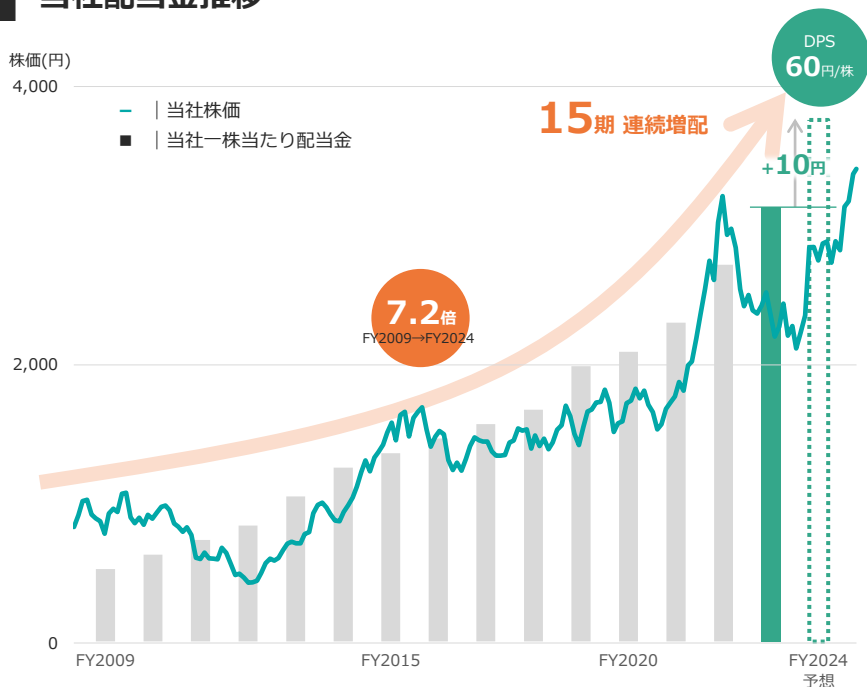
ポートフォリオマネジメントの強化により営業キャッシュ・フローを最大化し、財務健全性を維持しながらヘルスケア・半導体材料を中心とする成長投資を継続する



株主還元

事業成長および財務規律とのバランスを取りながら、配当による株主還元を基本とし、キャッシュ・フローや株価の状況等を総合的に勘案し、自己株式取得を検討・実施

当社配当金推移



株主還元方針

- 1 事業成長と財務規律との**バランス**を保つ
- 2 **配当**による株主還元を基本とし、**安定的かつ継続的な配当**の実施
- 3 配当性向**30%**を目安
- 4 自己株式取得は、キャッシュ・フローや株価の状況等を**総合的に勘案**して検討・実施



2024年3月期 決算 参考資料



04

4Q | 通期 業績

(単位：億円)

	4Q					通期				
	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く	2023年3月期	2024年3月期	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	7,647 100.0%	過去最高 8,055 100.0%	408 +5.3%	471	-63 -0.8%	28,590 100.0%	過去最高 29,609 100.0%	1,019 +3.6%	1,068	-49 -0.2%
営業利益	705 9.2%	過去最高 718 8.9%	13 +1.9%	110	-97 -13.6%	2,731 9.6%	過去最高 2,767 9.3%	36 +1.3%	251	-215 -7.8%
税金等調整前四半期純利益	774 10.1%	過去最高 876 10.9%	102 +13.2%	155	-53 -6.8%	2,822 9.9%	過去最高 3,173 10.7%	351 +12.4%	314	37 +1.3%
当社株主帰属四半期純利益	657 8.6%	過去最高 697 8.7%	40 +6.2%	108	-68 -10.2%	2,194 7.7%	過去最高 2,435 8.2%	241 +11.0%	218	23 +1.1%
為替										
: 米ドル	132円	149円	17円安			136円	145円	9円安		
: ユーロ	142円	161円	19円安			141円	157円	16円安		

<その他増減要因 (4Q | 通期 対前年度)>

営業利益における原材料価格影響：6億円 | 8億円

4Q | 通期 業績：セグメント別 連結売上高 | 営業利益

(単位：億円)

売上高	4Q		対前年度				通期		対前年度			
	2023年 3月期	2024年 3月期			為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期			為替影響除く	
ヘルスケア	2,870	2,844	-26	-1.0%	-216	-7.6%	9,288	9,751	463	+5.0%	48	+0.5%
* マテリアルズ	1,671	1,953	282	+16.8%	158	+9.7%	6,818	6,900	82	+1.2%	-188	-2.7%
ビジネスイノベーション	2,240	2,247	7	+0.4%	-63	-3.0%	8,381	8,261	-120	-1.4%	-271	-3.3%
イメージング	866	1,011	145	+16.8%	58	+6.7%	4,103	4,697	594	+14.5%	362	+8.8%
合計	7,647	8,055	408	+5.3%	-63	-0.8%	28,590	29,609	1,019	+3.6%	-49	-0.2%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益	4Q		対前年度				通期		対前年度			
	2023年 3月期	2024年 3月期			為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期			為替影響除く	
ヘルスケア	406	371	-35	-8.4%	-82	-19.9%	1,028	974	-54	-5.2%	-127	-12.3%
* マテリアルズ	75	115	40	+52.2%	14	+17.4%	654	429	-225	-34.5%	-289	-44.3%
ビジネスイノベーション	217	204	-13	-6.2%	-18	-8.7%	695	708	13	+1.8%	0	-0.1%
イメージング	102	130	28	+28.8%	-4	-3.0%	729	1,019	290	+39.9%	188	+25.9%
本社/連結調整	-95	-102	-7		-7		-375	-363	12	-	13	-
合計	705	718	13	+1.9%	-97	-13.6%	2,731	2,767	36	+1.3%	-215	-7.8%

* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリスタートしています。

4Q | 通期 業績：ヘルスケア

(単位：億円)

売上高	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
* メディカルシステム	1,790	1,902	112	+6.2%	7	+0.3%	6,220	6,596	376	+6.0%	137	+2.2%
バイオCDMO	694	618	-76	-10.9%	-145	-20.8%	1,942	2,034	92	+4.8%	-49	-2.5%
LSソリューション	386	324	-62	-16.3%	-78	-20.4%	1,126	1,121	-5	-0.5%	-40	-3.6%
合計	2,870	2,844	-26	-1.0%	-216	-7.6%	9,288	9,751	463	+5.0%	48	+0.5%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 【営業利益率】	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ヘルスケア	406 [14.1%]	371 [13.1%]	-35	-8.4%	-82	-19.9%	1,028 [11.1%]	974 [10.0%]	-54	-5.2%	-127	-12.3%

* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

4Q | 通期 業績：マテリアルズ

(単位：億円)

売上高	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
電子材料	411	612	201	+48.9%	147	+35.8%	1,806	1,997	191	+10.6%	79	+4.4%
ディスプレイ材料	142	192	50	+35.1%	50	+35.1%	701	783	82	+11.6%	82	+11.6%
* 他高機能材料	235	222	-13	-5.4%	-25	-10.3%	891	804	-87	-9.7%	-113	-12.6%
グラフィックコミュニケーション	883	927	44	+4.9%	-14	-1.2%	3,420	3,316	-104	-3.0%	-236	-6.7%
合計	1,671	1,953	282	+16.8%	158	+9.7%	6,818	6,900	82	+1.2%	-188	-2.7%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
マテリアルズ	75 [4.5%]	115 [5.9%]	40	+52.2%	14	+17.4%	654 [9.6%]	429 [6.2%]	-225	-34.5%	-289	-44.3%

* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

4Q | 通期 業績 : ビジネスイノベーション

(単位：億円)

売上高	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
オフィスソリューション	1,401	1,389	-12	-0.7%	-65	-4.4%	5,555	5,243	-312	-5.6%	-430	-7.7%
ビジネスソリューション	839	858	19	+2.1%	2	0.0%	2,826	3,018	192	+6.8%	159	+5.6%
合計	2,240	2,247	7	+0.4%	-63	-3.0%	8,381	8,261	-120	-1.4%	-271	-3.3%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
ビジネスイノベーション	217 [9.7%]	204 [9.1%]	-13	-6.2%	-18	-8.7%	695 [8.3%]	708 [8.6%]	13	+1.8%	0	-0.1%

4Q | 通期 業績：イメージング

(単位：億円)

売上高	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			対前年度	増減率	為替影響除く	増減率			対前年度	増減率	為替影響除く	増減率
コンシューマーイメージング	535	596	61	+11.5%	0	+0.1%	2,669	2,976	307	+11.5%	133	+5.0%
プロフェッショナルイメージング	331	415	84	+25.3%	58	+17.5%	1,434	1,721	287	+20.0%	229	+15.9%
合計	866	1,011	145	+16.8%	58	+6.7%	4,103	4,697	594	+14.5%	362	+8.8%

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	4Q						通期					
	2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く		2023年 3月期	2024年 3月期	対前年度		為替影響除く	
			対前年度	増減率	為替影響除く	増減率			対前年度	増減率	為替影響除く	増減率
イメージング	102 [11.7%]	130 [12.9%]	28	+28.8%	-4	-3.0%	729 [17.8%]	1,019 [21.7%]	290	+39.9%	188	+25.9%

営業利益増減分析(2024年3月期 実績 対前年実績)

(単位: 億円)

	通期		対前年度		為替	原材料価格	一時費用	オペレー ション等
	2023年 3月期	2024年 3月期						
ヘルスケア	1,028	974	-54	-5.2%	73	-15	-101	-11
マテリアルズ	654	429	-225	-34.5%	64	22	-125	-186
ビジネスイノベーション	695	708	13	+1.8%	13	3	94	-97
イメージング	729	1,019	290	+39.9%	102	-2	-25	215
全社/連結調整	-375	-363	12	-	-1	-	-	13
合計	2,731	2,767	36	+1.3%	*1 251	*2 8	*3 -157	-66

*4

*3: 一時費用明細

(単位: 億円)

*1: 為替レート

	2023年 3月期	2024年 3月期
米ドル	136円	145円
ユーロ	141円	157円

*2: 原材料別(半導体影響は除く)

	通期
銀	-32
アルミ	13
他(燃料等)	27
合計	8

	2023年 3月期	2024年 3月期	差異
ヘルスケア	71	172	-101
新規買収会社(CDMO)	58	-	58
組織再編関連費用(メディカル)	-	15	-15
棚卸資産評価減等(CDMO/LS)	-	70	-70
係争費用(LS)	-	50	-50
開発資産評価減・震災関連(医薬品)	-	18	-18
その他	13	19	-6
マテリアルズ	-14	111	-125
新規買収会社(半導体材料)	-	45	-45
体質強化費用等(半導体材料/高機能材料)	-	16	-16
体質強化費用等(クワイック/インクジェット)	-14	42	-56
係争費用他(クワイック/インクジェット)	-	8	-8
ビジネスイノベーション	94	-	94
体質強化費用	56	-	56
新ブランド移行費用等	38	-	38
イメージング	-3	22	-25
体質強化費用等	-3	22	-25
全社	-	-	-
合計	148	305	-157

*4 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリステートしています。

2025年3月期 通期連結業績予想

事業別売上高

(単位:億円)

	2024年3月期実績	2025年3月期	対前年度差異			2027年3月期
	実績	予想	差額	為替影響含む	為替影響除く	VISION2030
ヘルスケア	9,751	10,100	349	+3.6%	+5.3%	12,000
メディカルシステム	6,596	6,700	104	+1.6%		7,100
バイオCDMO	2,034	2,150	116	+5.7%		3,550
LSソリューション	1,121	1,250	129	+11.5%		1,350
エレクトロニクス	3,584	4,100	516	+14.4%	+16.1%	4,700
半導体材料	1,997	2,400	403	+20.2%		3,000
ディスプレイ材料	783	830	47	+6.0%		900
その他エレクトロニクス材料	804	870	66	+8.2%		800
ビジネスイノベーション	11,577	12,000	423	+3.6%	+3.8%	12,750
ビジネスソリューション	3,018	3,300	282	+9.4%		3,800
オフィスソリューション	5,243	5,300	57	+1.1%		5,250
* グラフィックコミュニケーション	3,316	3,400	84	+2.5%		3,700
イメージング	4,697	4,800	103	+2.2%	+3.5%	5,050
コンシューマーイメージング	2,976	2,950	-26	-0.9%		3,100
プロフェッショナルイメージング	1,721	1,850	129	+7.5%		1,950
合計	29,609	31,000	1,391	+4.7%	+5.7%	34,500
為替						
米ドル	145円	140円	5円高			140円
ユーロ	157円	150円	7円高			150円

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。
本区分変更にあわせ、2024年3月期の情報をリステートしています。

営業利益増減分析(2025年3月期 業績予想 対前年実績)

(単位：億円)

	通期		対前年度		為替	原材料価格	一時費用	オペレーション等
	2024年 3月期	2025年 3月期(予想)						
ヘルスケア	974	1,120	146 +15.0%		-35	-9	97	93
*4 エレクトロニクス	465	570	105 +22.6%		-35	6	16	118
ビジネスイノベーション	672	730	58 +8.6%		10	-3	5	46
イメージング	1,019	1,000	-19 -1.9%		-35	-1	7	10
全社/連結調整	-363	-420	-57 -		-	-	-	-57
合計	2,767	3,000	233 +8.4%		-95	-7	125	210

*1：為替レート

	2024年 3月期	2025年 3月期
米ドル	145円	140円
ユーロ	157円	150円

*2：原材料別(半導体影響は除く)

	通期
銀	-5
アルミ	-10
他(燃料等)	+8
合計	-7

*3：一時費用明細

(単位：億円)

	2024年 3月期	2025年 3月期予想	差異
ヘルスケア	172	75	97
体質強化費用(CDMO)	-	50	-50
組織再編関連費用(メディカル)	15	-	15
棚卸資産評価減等(CDMO/LS)	70	-	70
係争費用(LS)	50	-	50
開発資産評価減・震災関連(医薬品)	18	-	18
その他	19	25	-6
エレクトロニクス	61	45	16
新規買収会社(半導体材料)	45	30	15
体質強化費用等(半導体材料/高機能材料)	16	15	1
ビジネスイノベーション	50	45	5
体質強化費用等(グラフィック/インクジェット)	42	20	22
係争費用他(グラフィック/インクジェット)	8	25	-17
イメージング	22	15	7
体質強化費用等	22	15	7
全社	-	-	-
合計	305	180	125

※4 グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス(旧マテリアルズ)」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更に合わせて、2024年3月期の情報をリステートしています。

当社株主帰属当期純利益増減分析(2025年3月期 業績予想 対前年実績)

2024年度の当社株主帰属当期純利益は、営業利益増の効果があるも、前年に営業外収益で計上した投資有価証券評価益及び為替差損益を予想に織り込んでいないため、前年とほぼ同水準を見込む

(単位：億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	差異	差異要因
営業利益	2,767	3,000	+233	⊕ P37参照
営業外収益・費用*1	406	100	-306	投資有価証券評価益・為替差損益を予想から除外
税金等調整前当期純利益	3,173	3,100	-73	
法人税等 他*2	-738	-700	+38	税金等調整前当期純利益減少に伴う法人税等の減少
当社株主帰属当期純利益	2,435	2,400	-35	

マイナス：損、プラス：益

*1 | 構成要素：投資有価証券評価損益、為替差損益、受取利息及び配当金、支払利息、その他損益

*2 | 構成要素：法人税等、持分法による投資損益、非支配持分帰属損益

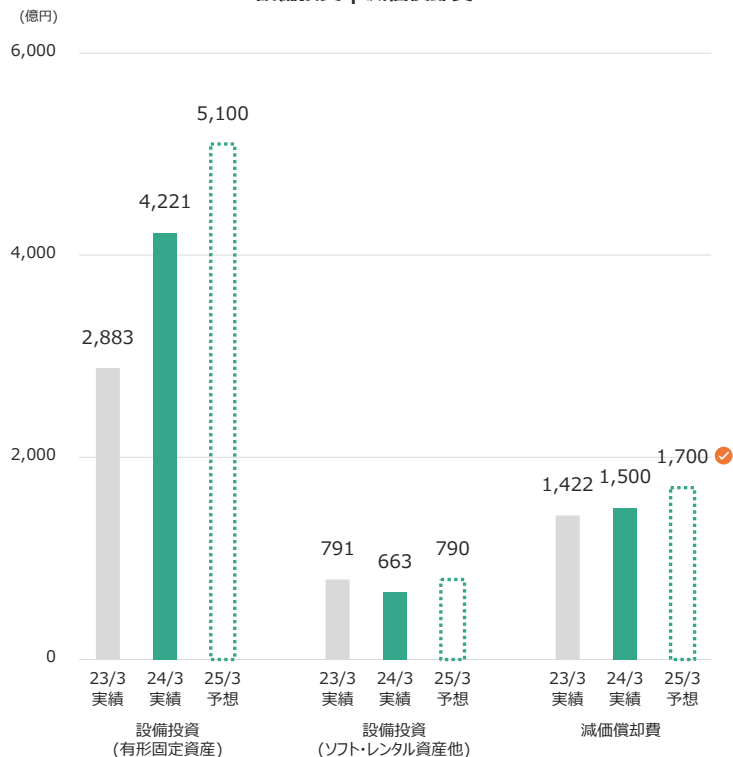
国内・海外別連結売上高

(単位：億円)

	2023年3月期		2024年3月期		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	35.9%	10,263	35.4%	10,495	232	+2.3%
米州	23.0%	6,569	21.7%	6,418	-151	-2.3%
欧州	15.1%	4,304	15.9%	4,706	402	+9.3%
内、中国	12.8%	3,687	13.2%	3,931	244	+6.6%
アジア他	26.0%	7,454	26.9%	7,990	536	+7.2%
海外	64.1%	18,327	64.6%	19,114	787	+4.3%
合計	100.0%	28,590	100.0%	29,609	1,019	+3.6%

設備投資 | 減価償却費

設備投資 | 減価償却費



旧セグメントベース | 2023年度まで

年度	4Q		通期	
	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
ヘルスケア	755	896	2,198	3,473
マテリアルズ	195	173	447	467
ビジネスイノベーション	47	49	126	167
イメージング	21	38	96	101
コーポレート	7	4	16	13
設備投資(有形固定資産)	1,025	1,160	2,883	4,221
ヘルスケア	77	37	171	142
マテリアルズ	14	23	62	70
ビジネスイノベーション	124	116	479	364
イメージング	16	19	47	49
コーポレート	6	8	32	38
設備投資(ソフト、レンタル資産他)	237	203	791	663
ヘルスケア	128	150	505	568
マテリアルズ	81	111	328	376
ビジネスイノベーション	105	90	422	382
イメージング	34	41	141	148
コーポレート	7	7	26	26
減価償却費	355	399	1,422	1,500

新セグメントベース | 2024年度より

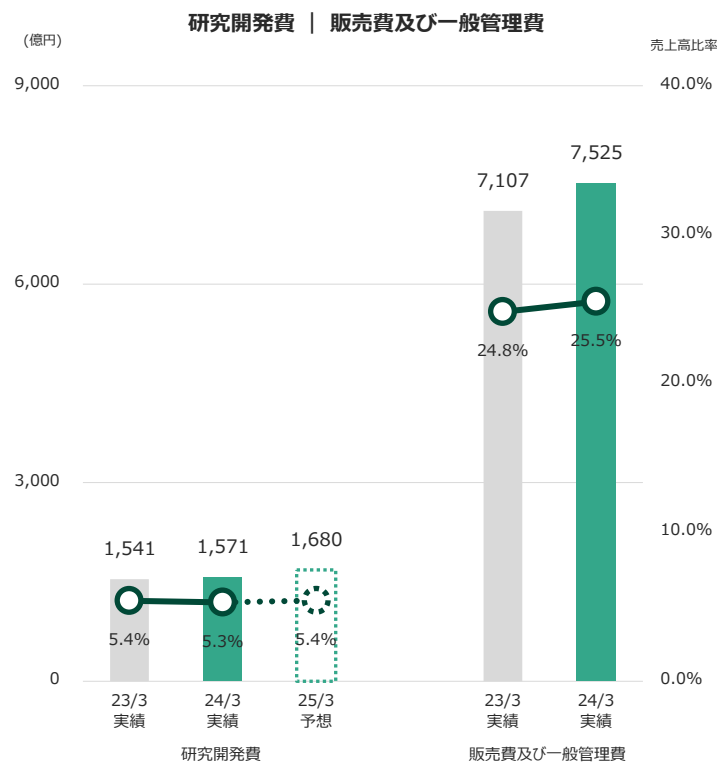
(単位：億円)

年度	通期	
	2024年 3月期	2025年 3月期
ヘルスケア	3,473	3,950
エレクトロニクス	362	620
ビジネスイノベーション	272	330
イメージング	101	180
コーポレート	13	20
設備投資(有形固定資産)	4,221	5,100
ヘルスケア	142	120
エレクトロニクス	19	20
ビジネスイノベーション	415	500
イメージング	49	70
コーポレート	38	80
設備投資(ソフト、レンタル資産他)	663	790
ヘルスケア	568	630
エレクトロニクス	280	330
ビジネスイノベーション	478	510
イメージング	148	170
コーポレート	26	60
減価償却費	1,500	1,700

● 4/17の「VISION2030」で公表した数値「540億円」から修正しております。これに伴い、全社合計金額も「1,730億円」から修正しております。

* 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

研究開発費 | 販売費及び一般管理費



旧セグメントベース | 2023年度まで

	4Q		通期	
	2023年 3月期	2024年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
ヘルスケア	131	145	490	557
マテリアルズ	113	122	464	491
ビジネスイノベーション	84	79	331	312
イメージング	24	25	95	111
コーポレート	40	23	161	100
研究開発費	392	394	1,541	1,571
<売上高比>	5.1%	4.9%	5.4%	5.3%
販売費及び一般管理費	1,864	2,003	7,107	7,525
<売上高比>	24.4%	24.9%	24.8%	25.5%

新セグメントベース | 2024年度より

(単位: 億円)

	通期	
	2024年 3月期	2025年 3月期 (予想)
ヘルスケア	557	
エレクトロニクス	266	
ビジネスイノベーション	537	
イメージング	111	
コーポレート	100	
研究開発費	1,571	1,680
<売上高比>	5.3%	5.4%
販売費及び一般管理費	7,525	
<売上高比>	25.5%	

※ 2024年3月期より非破壊検査事業の売上高・営業利益の金額を「マテリアルズ」セグメントから「ヘルスケア」セグメントに組み替えて表示しています。本区区分変更にあわせ、2023年3月期の情報をリセットしています。

為替 | 原材料 | 人員

為替(平均) | 原材料価格(平均)

単位		2023年3月期					2024年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
米ドル	円/ドル	130	139	141	132	136	138	145	148	149	145
ユーロ	円/ユーロ	138	139	144	142	141	150	157	159	161	157
銀	千円/kg	95	86	94	97	93	106	110	111	110	109

為替感応度：1円の変動による影響(年間) 最終更新日：2024/4/17

		売上高	営業利益
米ドル	1円あたり	+50 億円	+10 億円
ユーロ	1円あたり	+15 億円	+ 8 億円

人員

単位		2022.12末	2023.3末	2023.6末	2023.9末	2023.12末	2024.3末
連結	人	74,491	73,878	73,583	72,909	72,950	72,254

パイプライン(2024年5月9日時点)

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階
T-705	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）治療薬	経口	日本	承認申請中
T-4288	新規フルオロケトライド系抗菌薬	経口	日本	承認申請中
FF-10502	進行・再発固形がん治療薬	注射	米国	Ph II
FF-10832	進行性固形がん治療薬（ゲムシタビンリポソーム）	注射	米国	Ph I
FF-10850	進行性固形がん治療薬（トポテカンリポソーム）	注射	米国	Ph I

罹災証明迅速化ソリューションについて

近年、地震、台風、豪雨などの自然災害が頻発・激甚化する中、被災した住民の皆様の生活再建を早期に実現するためのスピーディーな被害状況の把握と調査計画策定、迅速な罹災証明書の発行を支援



New ドローンによる空撮画像をもとに家屋の被災状況を確認できる「被災状況可視化機能」の提供を4月1日より開始

導入効果

1. 住家被害認定調査の計画策定を**効率化**
2. 現地調査の前後業務の**省力化**
3. 応援職員管理業務の**負担軽減**
4. 住家被害認定調査結果に対する住民満足度の**向上**



GOOD
DESIGN
AWARD
2023

Digi田 (デジタル田)
甲子園 2023
民間企業・団体部門
優勝(内閣総理大臣賞)

参考情報

■ 富士フイルムホールディングス 株主・投資家情報

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors.html>

■ 富士フイルムホールディングス 統合報告書2023

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/integrated-report.html>

■ IR資料室

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials.html>

■ 富士フイルムグループ事業概要

<https://ir.fujifilm.com/ja/investors/ir-materials/business-overview.html>

■ 富士フイルムグループ90周年特設サイト

<https://holdings.fujifilm.com/special/90th/ja/>

FUJIFILM
Value from Innovation



富士フイルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

富士フイルムホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部

<https://holdings.fujifilm.com/ja>

FUJIFILM
Value from Innovation